

## みんなにやさしい、特別支援教育（18）

先日は、初任者研修の市教委訪問がありました。もう、慣れたもので堂々とした授業をされていました。

授業前の心構えや授業に対する姿勢作りに始まり、本時の学習のめあてや学習の手順の説明と確認。また、教師が話し過ぎにならないように、子どもの発言を切り返して子ども達に返したり、発言に対しては“すごい”“すごいなあ”などと賞賛と励ましの言葉を使っておられました。そして、授業の終わりには、しっかりと評価の時間まで。感心してしまいました。



授業が終わり、市教委の先生より指導講話をいただきました。このことは、初任者の先生だけではなく、ベテランの先生方にも通じるものですので、ここで紹介しておきましょう。

### ①黒板がきれい

授業が始まる前に、黒板がきれいに拭かれていました。教室訪問をさせていただくと、前時の板書が残っていたり、チョークの跡が残っている黒板が多くあります。黒板が美しく拭かれていることは、授業に対する教師の姿勢の表れであると共に色々なことに気がつく教師であるということです。

### ②掲示物がきれい

教室や廊下の掲示物がきれいに貼られていました。よく、掲示物が落ちていたり、斜めになって貼られていたり、古いものがいつまでも貼られていたりする教室があります。掲示物がきれいなことは、子どもが育つ環境ができているということです。

### ③図画工作や硬筆の作品が完成されている

教室や廊下に掲示されたり飾られている図工の作品や硬筆の作品の完成度が高いということです。このことから、教師の指導がしっかりとしていることがわかりますし、最後までしっかりと指導がしてあります。作品が、途中で終わっていないことからわかります。

これは、担当の先生の指導もありますが、今までの南小の取り組みの成果でもあります。この伝統は、今後も受け継いでいってほしいものです。

#### ④授業を始める前の姿勢をつくることのすばらしさ

どの子どもでも授業は気持ちよくスタートしたいものです。教師の声かけもアクセントになり、全員でピタリとそろそろあいさつも気持ちよく、スムーズなスタートでした。やはり、しっかりさせようという教師の願いを伺うことができました。

#### ⑤グループでの話し合いの姿が良い

自分の考えを発表し合うグループ活動での子ども達の姿から、子ども達の仲の良さを伺うことができました。これも、日頃からの仲間作りに取り組んでおられることの成果だと思えます。

#### ⑥授業の進め方の提示することの良さ

学習の手順を説明された時に使用された短冊は、説明だけでは忘れてしまいがちになることを補うことができます。日頃の授業では、短冊とまではいかないまでも板書することを忘れないようにしてください。

#### ⑦教具が工夫されている

平行四辺形を長方形に変更する説明に、パウチに使うクリアファイルが使われたことや、ホワイトボードのマーカーを使うとテッシュで消えるなど、教具を工夫されていました。教具を工夫すると、授業に対する子ども達の感心が高まるものです。

#### ⑧意図を持った机間巡視がされていた

机間巡視は個々の様子を把握して指導をすることになりますが、個別指導以外にも、班別指導や指示など意図を持った机間指導がされていました。

#### ⑨授業の中で、その場면을意図的に作り、育てていく

“すごい” “すごいなあ” などと、子どもへの心からの称賛と承認は、支援の前提とも言える必須の要件です。常に、子ども達の良さや頑張りが認められる学級経営を心がけたいものです。そのことが、学級の子ども達が互いに認め合う素地を作っていくことになります。



#### ⑩個を大切にす

ある男の子が発言をしようとしたのですが、忘れてしまって言えませんでした。先生は、「〇〇君に代わって、誰か言ってあげて。」と言われ、友達が発言をした後に、「〇〇君が言いたかったことは、そういうことやったんやね。」と言われました。発言ができなかった子をほっておくのではなく、フォローを忘れないことが、これも仲間を大切にすることにつながっています。